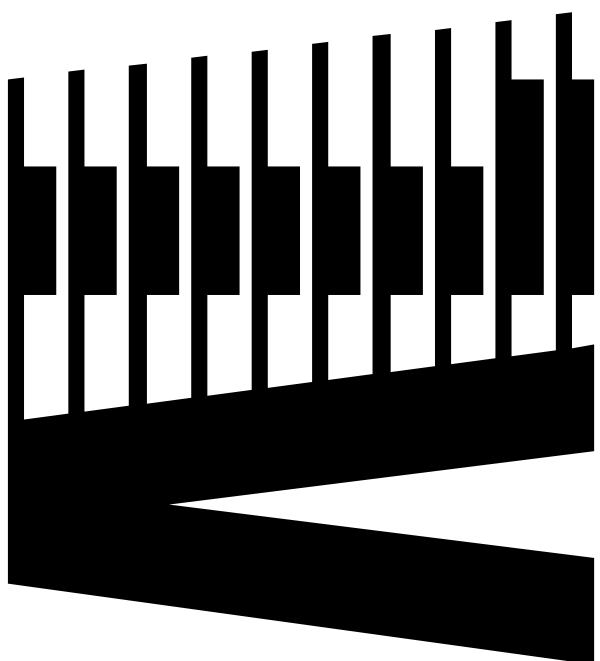
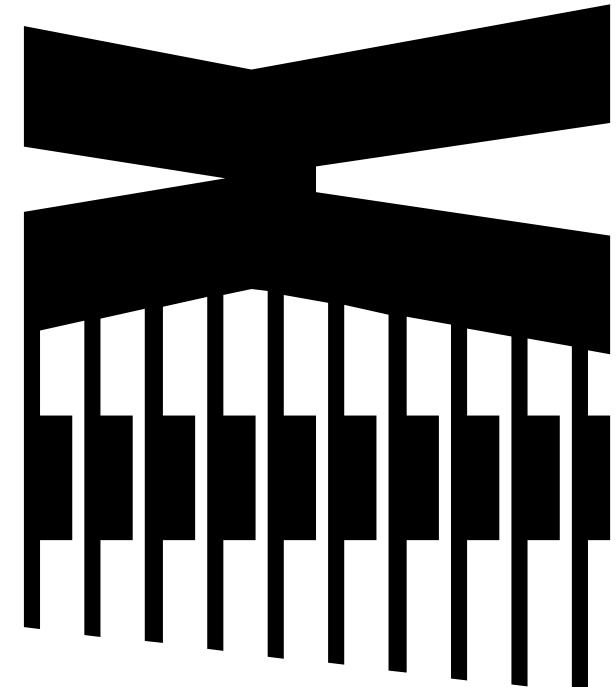


“ ア ル ビ ク ス ” マ ル チ ビ ュ ー ワ

# MV-5000

取扱説明書

Ver.1.0.3



御使用の前に必ず本取扱説明書をよく読んで理解して、  
安全の為の指示に従って下さい。  
もし、不明点が有れば販売店か弊社におたずね下さい。

## 目 次

	ページ
1. 主な機能と特徴.....	3
2. 仕様.....	4
3. 各部の名称と機能.....	6
3 - 1 フロントパネル .....	6
3 - 2 リアパネル .....	8
4. 接続方法.....	9
5. 設定について.....	11
5 - 1 子画面設定.....	11
5 - 1 - 1 表示 ON/OFF .....	11
5 - 1 - 2 サイズ .....	12
5 - 1 - 3 表示位置.....	12
5 - 1 - 4 枠モード.....	13
5 - 1 - 5 チャンネル名称 表示 ON/OFF .....	15
5 - 1 - 6 チャンネル名称 表示位置.....	16
5 - 1 - 7 音声バー表示位置 .....	18
5 - 1 - 8 枠色・ブリンク .....	28
5 - 1 - 9 BASE 色・ブリンク .....	30
5 - 1 - 10 アスペクト設定 .....	31
5 - 1 - 11 サブアスペクト設定 .....	32
5 - 2 チャンネル名称 .....	34
5 - 3 時計設定.....	35
5 - 3 - 1 アナログ時計 .....	35
5 - 3 - 2 デジタル時計 .....	36
5 - 4 コメントウィンドウ設定 .....	37
5 - 4 - 1 設定項目 .....	41
5 - 5 背景設定 .....	42
5 - 6 レイアウト設定 .....	43

## 御使用上の注意事項

必ずお守り下さい（安全にお使いいただくために）

---

### 警告

- ◇ 内部に液体をこぼしたり、燃え易い物や金属類を落としたりしてはいけません。  
(火災や感電、故障の原因となります。)
- ◇ 発煙、異常音、臭気などに気が付いたときは、すぐに電源コードを抜いて販売店に御連絡下さい。

### 注意

- ◇ 電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。  
(感電やショート、火災の原因となります。)
- ◇ 電源コードを引っ張ったり、重いものをのせたりしない。  
(電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。)
- ◇ 電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。  
(感電やショート、火災の原因となります。)
- ◇ 仕様にて規定された電源電圧以外では使用しない。  
(火災や感電の原因となります。)

### お願い

- ◇ 風通しの悪い所に置いたり、布などで通風孔を塞いだりしないで下さい。  
(故障の原因となります。)
- ◇ 次の様な所には置かないで下さい。  
湿気の多い所、油煙や湯気の当たる所、直射日光の当たる所、熱器具の近く  
埃の多い所、強い磁気のある所、極端に寒い所、極端に暑い所、激しい振動の  
ある所、安定しない台の上、傾いた所  
(故障の原因となります。)

# 1. 主な機能と特徴

---

- ◊アルビクス・マルチビューワは、SDI信号を入力し、大画面・高解像度液晶ディスプレイなどに分割表示することができます。
- ◊最大32ch入力可能で、レイアウトが全く異なる分割画面を2系統出力します。
  - 【例1】16分割画面を2系統出力することができます。
  - 【例2】8分割画面と24分割画面の2系統出力することができます。
  - 【例3】32分割画面を1系統に出力することができます。
- ※2台カスケード接続（最大64ch入力 2系統出力）は将来対応予定です。
- ◊入力は、SD／HD／3G-SDI（自動判別）で、混在可能です。
  - ※3G-SDIは LevelA/1080p/4:2:2 対応。
- ◊エンベデッドオーディオに対応し、最大8chのオーディオレベルバーを合成することができ、目視による音声の確認が出来ます。
- ◊LTC入力が可能でアナログ時計／デジタル時計表示を同時に表示可能です。
- ◊レイアウトパターンは出力毎に8個持つ事が可能です。
- ◊チャンネル名称は、シフトJISコード（第一水準）の文字が表示可能です。
- ◊分割表示の他にコメントウィンドウ表示があり、  
コメントウィンドウで文字やタリーなどを自由に表示することが可能です。
- ◊外部制御はLANインターフェイスを装備し、アルビクスエラー装置と連動して  
タリーの様に表示する事が出来ます。設定はTCP／IPで行います。
- ◊電源はリダンダントでフロントメンテナンス可能です。

## 2. 仕様

筐体 : MV5K-TN		
外部制御	OUT-REAR 基板にETHERコネクタあり	
SNMP通知	OUT-REAR 基板にETHERコネクタあり(SNMP 通信用)	
メンテナンス	前面より IN-SCALER 基板・電源ユニットの交換が可能 背面よりファンユニットの交換が可能	
電源ユニット : MV5K-PU	リダンダント、ホットスワップ AC 100~250V (50/60Hz)	
外形寸法	W430×H88×D580mm 2Uラックマウントサイズ(突起含まず)	
基板実装枚数	IN-REAR 基板	1~4 枚
	IN-SCALER 基板	1~4 枚
	OUT-CNT 基板	1 枚
	OUT-REAR 基板	1 枚
最大入力信号数	32 系統	
最大出力信号数	2 系統	
重量	約 13kg	
消費電力／皮相電力	約 400W/400VA	
使用周囲温度	5~40°C	

IN-REAR 基板 : MV5K-IN-REAR		
入力信号	入力信号形式	3G-SDI (SMPTE 424M 1080p) Level-A
		HD-SDI (SMPTE 292M 1080i)
		SD-SDI (SMPTE 259M 480i)
	入力接栓	BNCコネクタ
	入力信号数	8 系統
	入力音声信号	エンベデッドオーディオ 8ch 対応
活線挿抜	不可	

IN-SCALER 基板 : MV5K-IN-SCALER		
信号形式	3G/HD/SD-SDI	
処理数	8 系統 8 子画面の変換を行います。	
機能	オーディオバー表示	
	IP 変換	
	リサイズ	
活線挿抜	可	

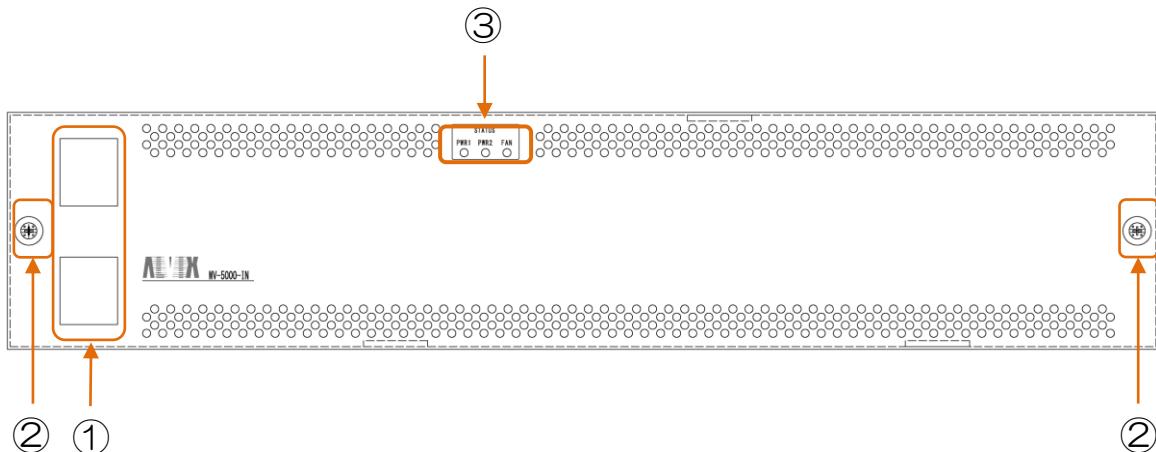
OUT-CNT 基板 : MV5K-OUT-CNT	
出力の主な処理と外部制御処理を行い、チャンネル名称、コメント表示などを合成します。	
活線挿抜	不可

OUT-REAR 基板 : MV5K-OUT-REAR		
SD I 入力信号	入力信号形式	3G-SDI 59.94Hz
	入力接栓	BNCコネクタ 2台カスケード接続時に使用します。(将来対応)
	入力信号数	4系統
SD I 出力信号	出力信号形式	3G-SDI 1920x1080p-59.94 4:2:2 20bit SQD
	出力接栓	BNCコネクタ 4k 出力 (3G-SDI × 4) を2系統出力します。
	出力信号数	8系統
HDMI 出力信号	出力信号形式	HDMI_2.0 3840x2160-59.94p
	出力接栓	HDMI コネクタ
	出力信号数	2系統
LTC 入力信号	LTC入力信号	SMPTE 12M
	入力接栓	BNCコネクタ
	入力信号数	1系統
外部制御、SNMP	制御方式	TCP/IP、SNMP
	コネクタ	RJ-45
活線挿抜	不可	

### 3. 各部の名称と機能

#### 3 - 1 フロントパネル

<フロント>



① 電源ユニットスイッチ

本機器の電源 ON/OFFを行います。

通常は、上下のスイッチを両方ONにして使用してください。

② フロント着脱用ネジ

フロントを開口する際には、ネジを緩めてフロントの着脱を行います。

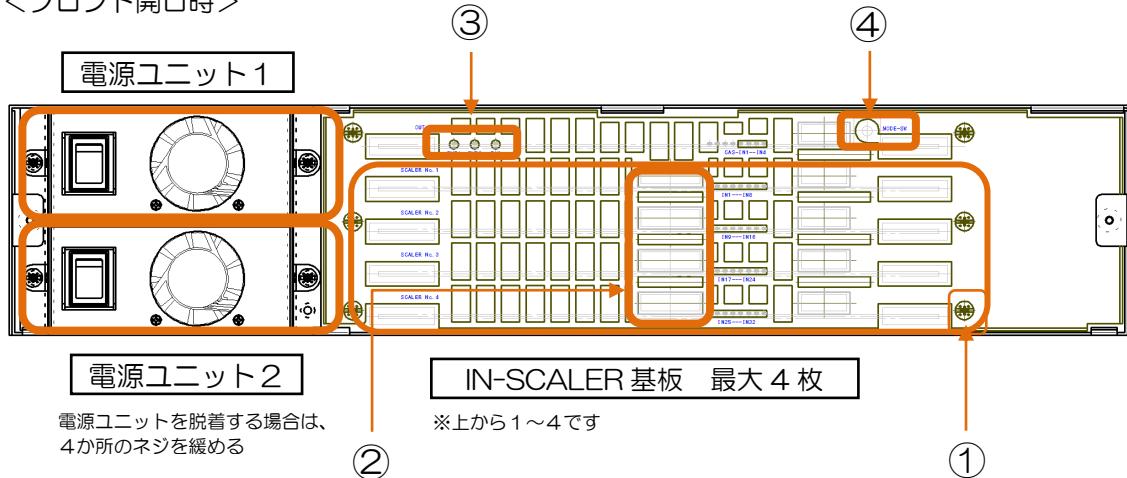
③ ステータスLED

機器状態を示すLEDです。

左から POWER 1、POWER 2、FAN。

POWER 1、POWER 2、FANは赤点灯で異常、正常は緑点灯。

<フロント開口時>



① IN-SCALER 基板インジケータ

IN-SCALER 基板への入力信号の状態を表します。

消灯：無信号、点滅：SD、点灯：HD 左から入力1～8です。

IN-SCALER 基板は8入力をリサイズ出力します。

② IN-SCALER 基板脱着用ネジ

IN-SCALER 基板を脱着する際には、6カ所のネジを緩めて金具を外します。

③ ステータスLED

機器状態を示すLEDです。

左から POWER 1、POWER 2、FAN。

POWER 1、POWER 2、FANは赤点灯で異常、正常は緑点灯。

④ MODE選択スイッチ

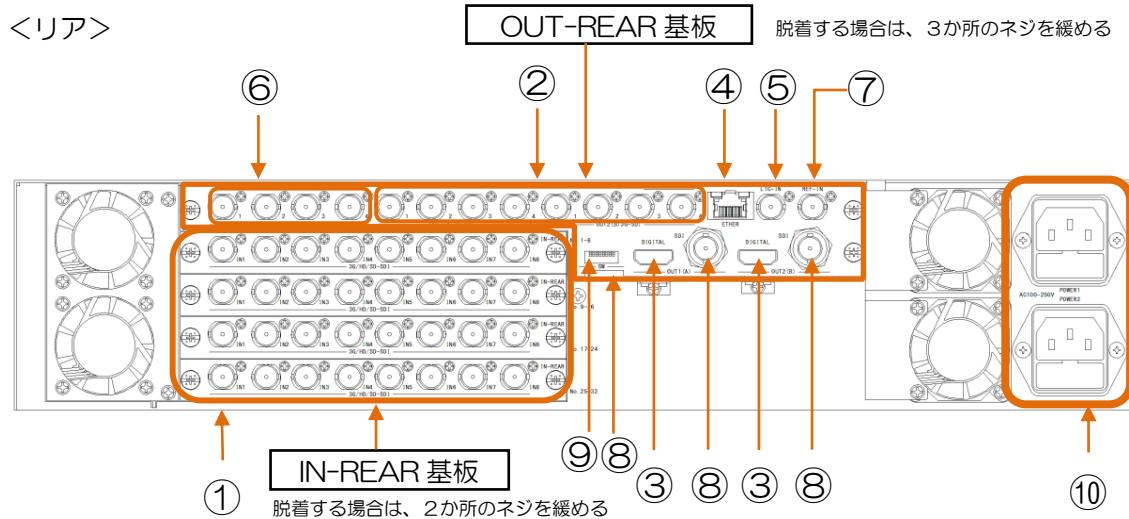
0 : NORMAL MODE (1台接続時)

2 : カスケード接続 SLAVE

3 : カスケード接続 MASTER

(カスケード接続は将来対応。その他は使用しません。選択しないでください。)

### 3 - 2 リアパネル



① SDI 入力

入力ユニットからの SDI を入力するコネクタです。

② SDI 出力

4 k (3G-SDIx4) を2系統出力します。(OUT 1/OUT 2)  
うち4個はカスケード出力共用(OUT 1)

③ HDMI 出力

3840x2160-59.94p の HDMI 信号を出力します。

④ ETHER

外部制御用 LAN インターフェイスコネクタです。  
ネットワークから制御する際に接続します。

⑤ LTC 入力

時計表示用の LTC 信号を入力します。

時計表示は、内部時計か LTC で表示します。

⑥ カスケード入力

カスケード接続で入力数を増やす際に使用します。(将来対応)  
2台カスケード接続で最大 64ch 入力。

⑦ リファレンス入力

使用しません。接続しないでください。

⑧ メンテナンスコネクタ

使用しません。接続しないでください。

⑨ メンテナンス用ディップスイッチ

使用しません。変更しないでください。

⑩ AC 入力

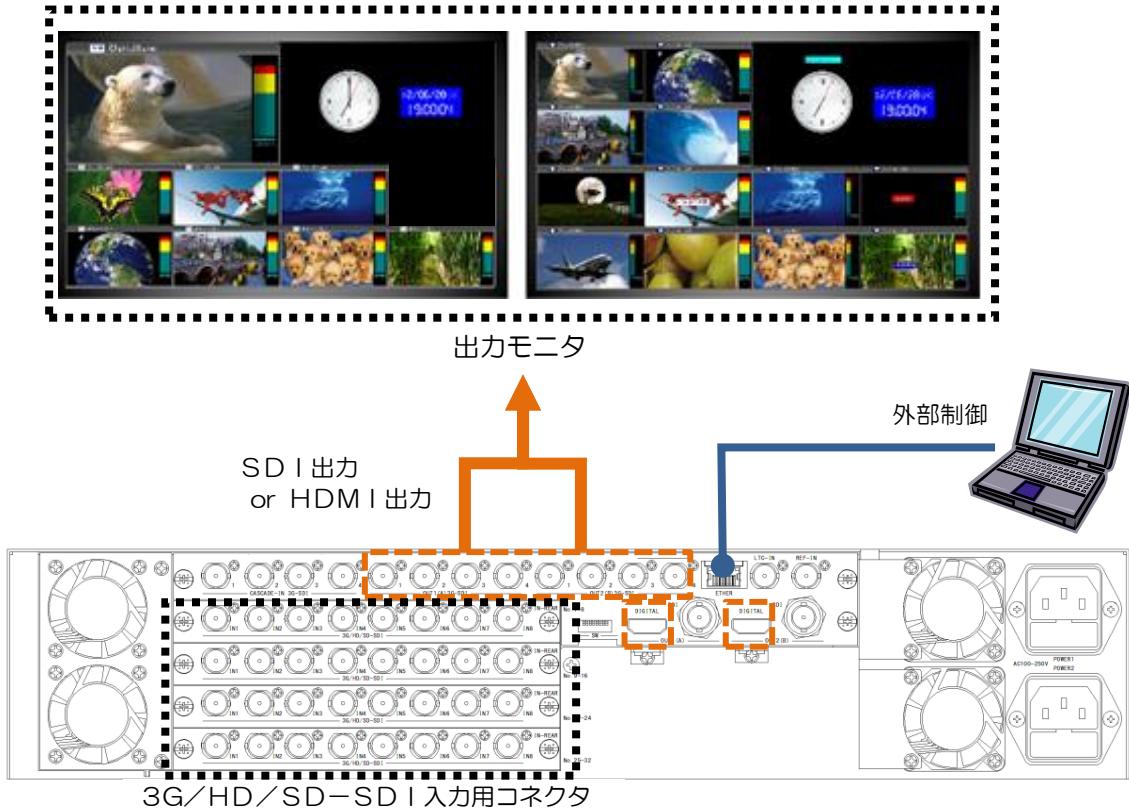
本機の電源入力 (3P インレット) です。

電源コードは電源ユニット 1, 2とも接続して下さい。

## 4. 接続方法

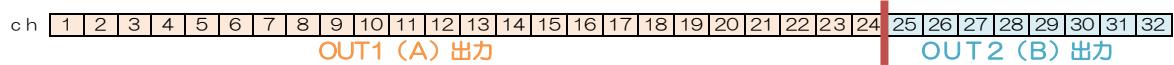
◇2系統出力時の接続例を示します。

<構成例1>

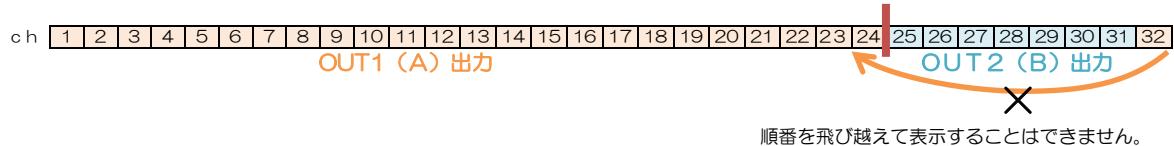


※入力 ch 順での割り付けとなります。

※子画面数の設定は4子画面単位になります。



※OUT1 (A) 出力に【1～24chと32ch】、OUT2 (B) 出力に【25ch～31ch】を割り付けるなど、順番を飛び越えたレイアウトはできません。



◇OUT1 (A)、OUT2 (B) 子画面数設定での可能な組み合わせ

(SCALER基板 4枚の場合 = 32子画面)

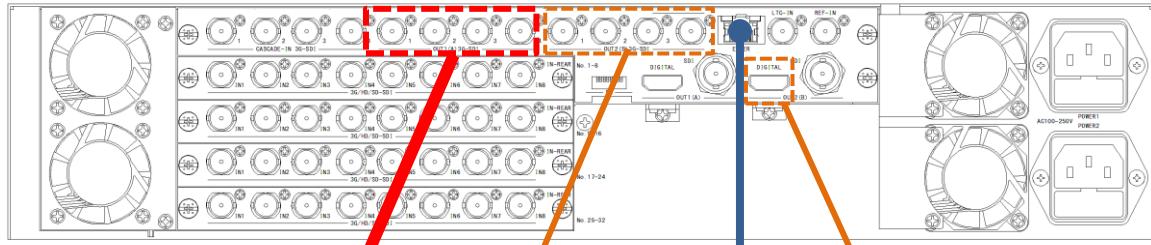
- OUT1 (A) : 32子画面 + OUT2 (B) : 0子画面
- OUT1 (A) : 28子画面 + OUT2 (B) : 4子画面
- OUT1 (A) : 24子画面 + OUT2 (B) : 8子画面
- OUT1 (A) : 20子画面 + OUT2 (B) : 12子画面
- OUT1 (A) : 16子画面 + OUT2 (B) : 16子画面
- OUT1 (A) : 12子画面 + OUT2 (B) : 20子画面
- OUT1 (A) : 8子画面 + OUT2 (B) : 24子画面

## <構成例2>

- ・カスケード接続（将来対応）

カスケード出力時の接続（2台構成のみが可能）最大 64Ch 入力/2 出力。  
OUT1 (A) =32以上必要な場合に使用します。

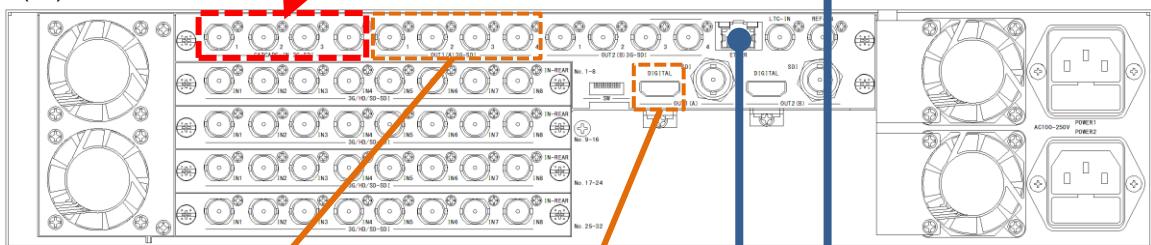
(子)カスケードユニット



HD/SDI  
OUT2 (B) 出力

HDMI  
OUT2 (B) 出力

(親)ユニット



HD/SDI  
OUT1 (A) 出力

HDMI  
OUT1 (A) 出力



外部制御

LAN-HUB

※カスケード接続の場合、PC（設定ソフト）または上位より制御しますが、制御対象は  
親ユニット（例：192.168.1.200）のみとなります。（LAN接続は2台とも必要です。）  
子ユニットの制御は親ユニットが行います。

※PC、HUBはお客様用意となります。

※時計表示の為のLTCはどちらのユニットにも必要です。

## 5. 設定について

### 5 - 1 子画面設定

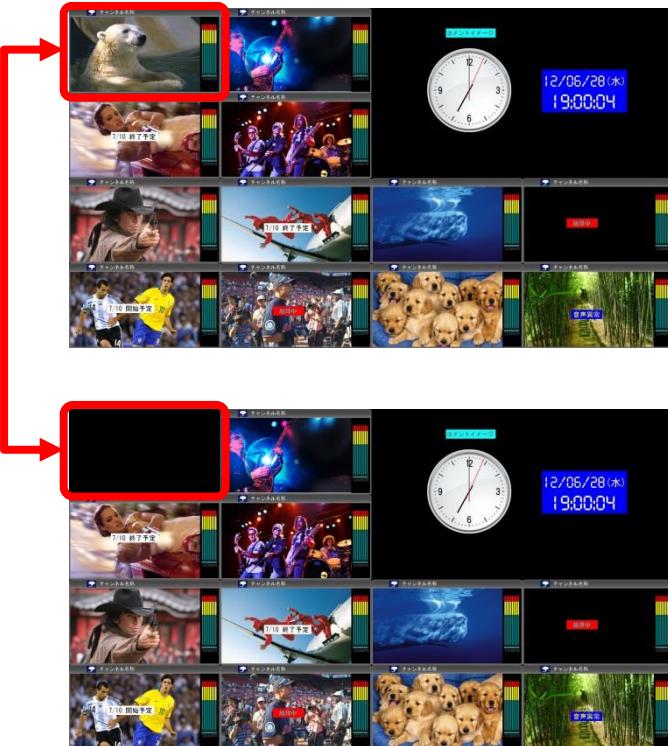
◇設定ソフトを使用し、子画面の表示設定やレイアウトを変更することができます。

※ 設定ソフトの操作方法については、別紙設定ソフト取扱説明書をご覧ください。

#### 5 - 1 - 1 表示 ON/OFF

子画面の表示/非表示が設定できます。

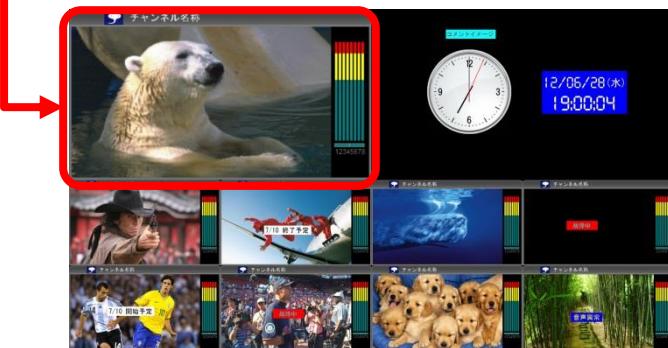
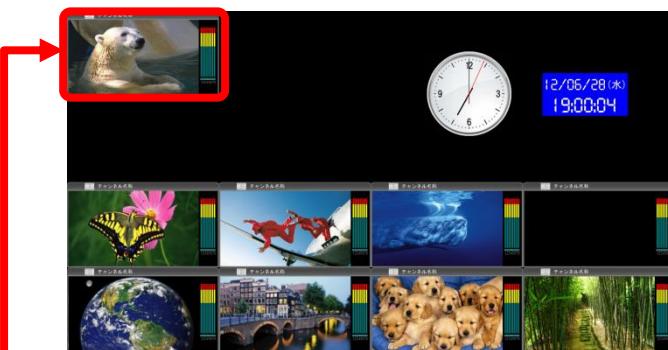
表示 ON/OFF



## 5 - 1 - 2 サイズ

サイズを1ドット単位で設定できます。

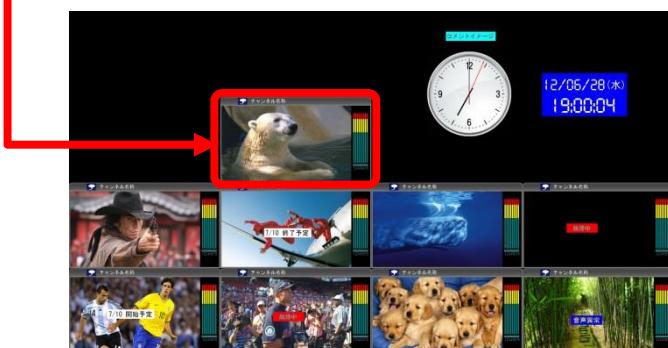
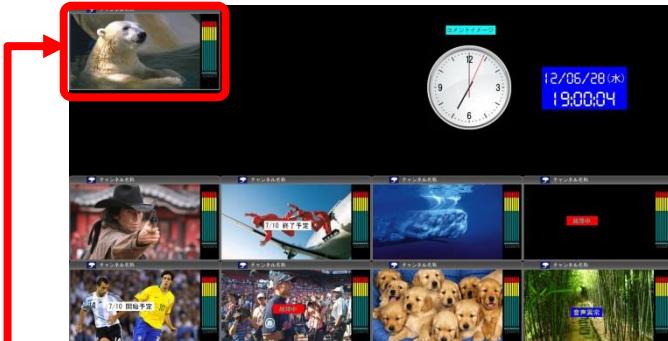
サイズ設定



## 5 - 1 - 3 表示位置

表示位置(X,Y)を1ドット単位で設定できます。

表示位置設定



## 5 - 1 - 4 枠モード

各子画面には下図のようにノーマル、シンプル、フル、ノーマル(チャンネル名称無し)の4種類の枠モードが設定できます。

ノーマル：基本となるモードです。

シンプル：ノーマルより映像が大きく表示されるモードです。

フル : オーディオバー、タイトルバーがなく、映像が子画面一面に表示されるモードです。

ノーマル(チャンネル名称無し)：ノーマルモードにチャンネル名称が表示されません。

設定	表示
ノーマル	 A polar bear swimming in water, with a black bar at the top labeled "チャンネル名称" (Channel Name) containing the text "12345678". A color calibration bar is visible on the right.
シンプル	 A polar bear swimming in water, with a black bar at the top labeled "チャンネル名称" (Channel Name) containing the text "1234" and "5678" on separate lines. A color calibration bar is visible on the right.
フル	 A polar bear swimming in water, with no black bar or text overlay at the top. A color calibration bar is visible on the right.

ノーマル  
(チャンネル名称  
無し)



## 5 - 1 - 5 チャンネル名称 表示 ON/OFF

---

チャンネル名称の表示/非表示が設定できます。

チャンネル名称  
ON/OFF 設定



## 5 - 1 - 6 チャンネル名称 表示位置

チャンネル名称の表示位置(上又は下)が設定できます。

- 枠モード=ノーマル

設定	表示
上	 <p>チャンネル名称</p> 
下	 <p>チャンネル名称</p> 

- 枠モード=シンプル

設定	表示
上	<p>チャンネル名称</p> 
下	 <p>チャンネル名称</p>

- 枠モード=フル

設定	表示
上	<p>チャンネル名称</p> 
下	 <p>チャンネル名称</p>

## 5 - 1 - 7 音声バー表示位置

各子画面はそれぞれ音声バーの表示位置が設定できます。  
設定可能な位置は、枠モードにより以下のように異なります。

枠モード	設定可能位置
シンプル	右、左
ノーマル	右、左、左右、左右(左：奇数 CH、右：偶数 CH)
フル	右、左、左右、左右(左：奇数 CH、右：偶数 CH)、表示なし、右側上、右側下、左側上、左側下、上側中央、上側右詰め、上側左詰め、下側中央、下側右詰め、下側左詰め
ノーマルモード (Ch 名称無し)	右、左、左右、左右(左：奇数 CH、右：偶数 CH)、右側上、右側下、左側上、左側下、上側中央、上側右詰め、上側左詰め、下側中央、下側右詰め、下側左詰め

- 枠モード=シンプル

設定	表示
右	 <p>チャンネル名称</p> <p>1234</p> <p>5678</p>
左	 <p>チャンネル名称</p> <p>1234</p> <p>5678</p>

- ・ 枠モード=ノーマル

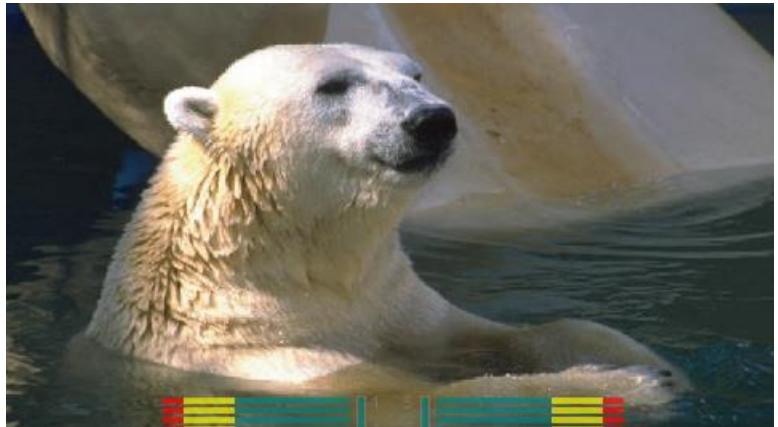
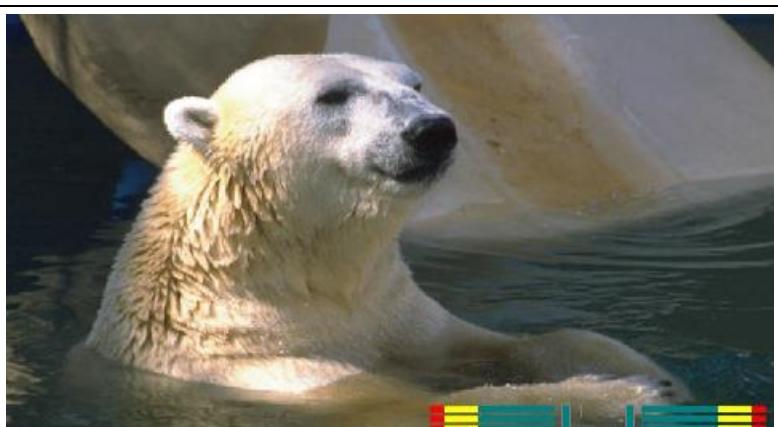
設定	表示
右	<p>チャンネル名称</p>  <p>12345678</p>
左	<p>チャンネル名称</p>  <p>12345678</p>
左右	<p>チャンネル名称</p>  <p>1234 5678</p>
左右 (左：奇数 CH、 右：偶数 CH)	<p>チャンネル名称</p>  <p>1357 2468</p>

- 枠モード=フル

設定	表示
右	
左	
左右	
左右 (左:奇数CH、 右:偶数CH)	

表示なし	
右側上	
右側下	
左側上	

左側下	
上側中央	
上側右詰め	
上側左詰め	

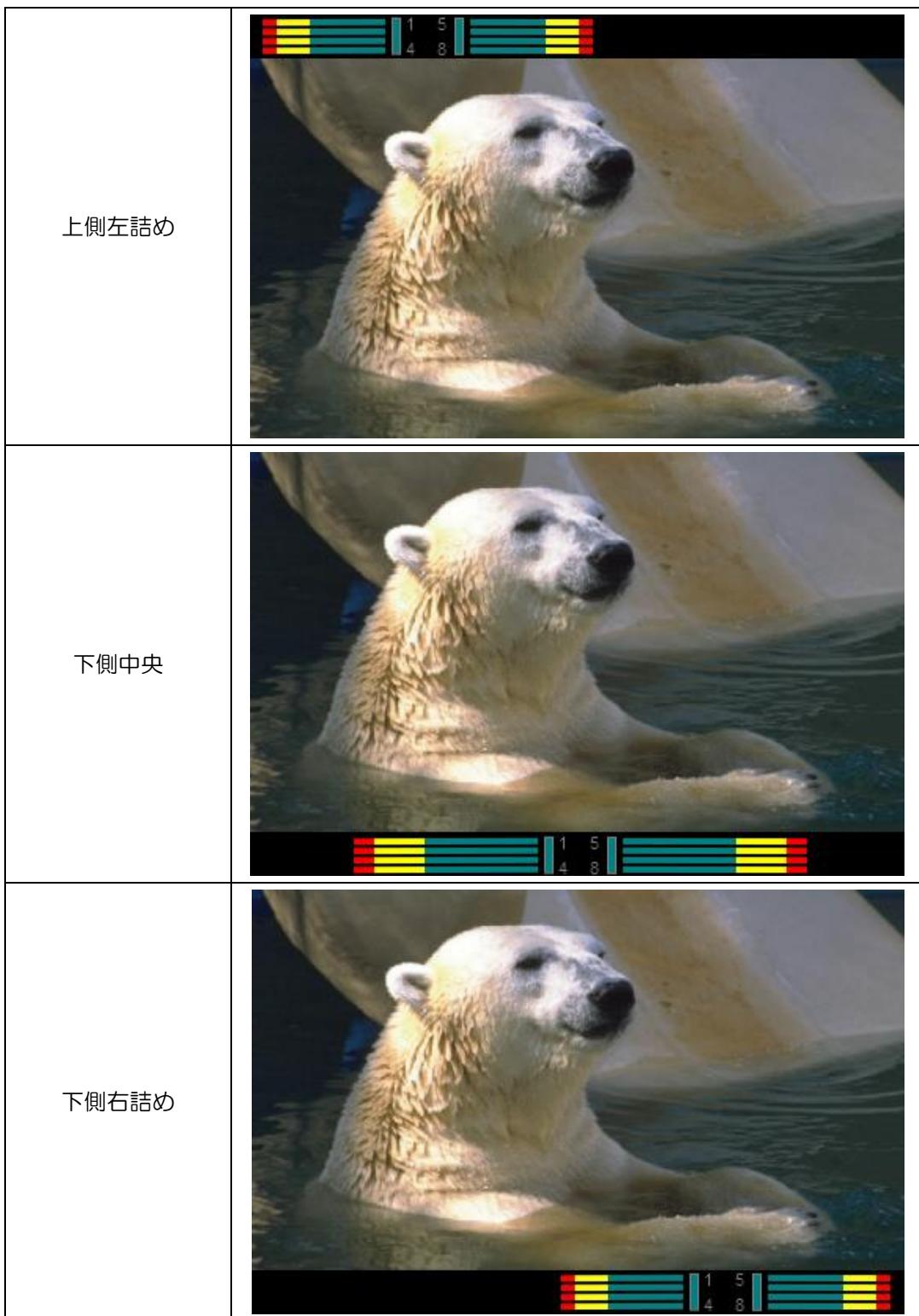
下側中央	
上側右詰め	
上側左詰め	

- 枠モード=ノーマル (Ch名称無し)

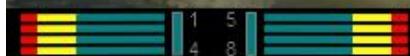
設定	表示
右	

左	
左右	
左右 (左：奇数 CH、 右：偶数 CH)	
右侧上	
右侧下	

左側上	 <p>A color calibration bar with vertical bars of red, yellow, green, blue, magenta, cyan, and black, labeled 12345678. To its right is a photograph of a white polar bear swimming in water, looking towards the right.</p>
左側下	 <p>A color calibration bar with vertical bars of red, yellow, green, blue, magenta, cyan, and black, labeled 12345678. To its right is a photograph of a white polar bear swimming in water, looking towards the right.</p>
上側中央	 <p>A color calibration bar with vertical bars of red, yellow, green, blue, magenta, cyan, and black, labeled 12345678. To its right is a photograph of a white polar bear swimming in water, looking towards the right. The calibration bar is positioned at the top center of the frame.</p>
上側右詰め	 <p>A color calibration bar with vertical bars of red, yellow, green, blue, magenta, cyan, and black, labeled 12345678. To its right is a photograph of a white polar bear swimming in water, looking towards the right. The calibration bar is positioned at the top right edge of the frame.</p>



下側左詰め



枠色をRGB値の各色0, 85, 170, 255の4段階により設定できます。  
枠の太さを4ドット単位で16段階(0~60ドット)設定できます。  
ブリンク設定により設定した枠色で点滅できます。

- 各枠モードでの枠表示イメージ（枠色RGB値[255,0,0]設定）

枠モード	表示
ノーマル	 <p>チャンネル名称</p> <p>12345678</p>
シンプル	 <p>チャンネル名称</p> <p>1234</p> <p>5678</p>
フル	 <p>チャンネル名称</p>

- 枠太さ設定イメージ

(子画面サイズ：480x270、シンプルモード、枠色 RGB 値[255,0,0]設定)

枠モード	表示
4 ドット	<p>チャンネル名称</p>  <p>1234 5678</p>
12 ドット	<p>チャンネル名称</p>  <p>1234 5678</p>
20 ドット	<p>チャンネル名称</p>  <p>1234 5678</p>

## 5 - 1 - 9 BASE 色・ブリンク

BASE 色(音声バーの背景色)をRGB 値の各色 0, 85, 170, 255 の4 段階により設定できます。  
ブリンク設定により設定した BASE 色で点滅できます。

- 各枠モードでの BASE 表示イメージ (BASE 色 RGB 値[0,85,255]設定)

枠モード	表示
ノーマル	 A photograph of a polar bear swimming in water. A vertical blue bar with a red border is displayed on the right side of the screen. The bar has a grayscale calibration strip at the top and the numbers '12345678' at the bottom.
シンプル	 A photograph of a polar bear swimming in water. A vertical blue bar with a red border is displayed on the right side of the screen. The bar has a grayscale calibration strip at the top and the numbers '12345678' at the bottom.
フル	—
ノーマル (Ch 名称 無し)	 A photograph of a polar bear swimming in water. A vertical blue bar with a red border is displayed on the right side of the screen. The bar has a grayscale calibration strip at the top and the numbers '12345678' at the bottom.

## 5 - 1 - 10 アスペクト設定

出力映像のアスペクト比（16：9 又は 4：3）が設定できます。

設定	表示
16：9	<p>チャンネル名称</p>  <p>12345678</p>
4：3	<p>チャンネル名称</p>  <p>12345678</p>

## 5 - 1 - 1 1 サブアスペクト設定

「5-1-10 アスペクト設定」の設定と入力映像のアスペクト比が一致しない場合の映像の表示方法が設定できます。

- アスペクト設定=16：9、入力映像=4：3

設定	表示
スクイーズ	<p>チャンネル名称</p>  <p>12345678</p>
サイドパネル	<p>チャンネル名称</p>  <p>12345678</p>

- アスペクト設定=4：3、入力映像=16：9

設定	表示
レターBOXス	
サイドカット	

## 5 - 2 チャンネル名称

---

各子画面にそれぞれチャンネル名称が設定できます。

設定されたチャンネル名称は子画面のチャンネル名称が表示設定時にタトルバーに表示されます。

チャンネル名称にはテキストが表示できます。



## 5 - 3 時計設定

---

### 5 - 3 - 1 アナログ時計

---

レイアウト毎に1つのアナログ時計が表示できます。

アナログ時計イメージ



#### 5-3-1-1 表示 ON/OFF

---

表示/非表示が設定できます。

#### 5-3-1-2 表示選択

---

表示する時刻を LTC 入力と MV 内部で選択できます。

#### 5-3-1-3 表示位置

---

表示位置 (X,Y) を 1 ドット単位で設定できます。

#### 5-3-1-4 サイズ

---

サイズを以下の 5 段階で設定できます。

216 × 216

270 × 270

360 × 360

432 × 432

540 × 540

## 5 - 3 - 2 デジタル時計

レイアウト毎に1つのデジタル時計が表示できます。



### 5-3-2-1 表示 ON/OFF

表示/非表示が設定できます。

### 5-3-2-2 表示選択

表示する時刻を LTC 入力と MV 内部時計で選択できます。

### 5-3-2-3 表示位置

表示位置 (X,Y) を 1 ドット単位で設定できます。

### 5-3-2-4 サイズ

サイズを以下の 5 段階で設定できます。

216 × 108

270 × 135

360 × 180

432 × 216

540 × 270

### 5-3-2-5 文字色・背景色

文字色及び背景色を RGB 値の各色 1～255 により設定できます。

## 5 - 4 コメントウィンドウ設定

- ・出力コメントウィンドウと入力コメントウィンドウ機能を持ちます。
- ・出力コメントウィンドウはレイアウト毎（レイアウト1～8）に160個のコメントウィンドウが表示できます。
- ・入力コメントウィンドウは子画面毎に最大10個のコメントウィンドウが表示できます。

### 各部名称

以下にコメントウィンドウの各部名称を記載します。



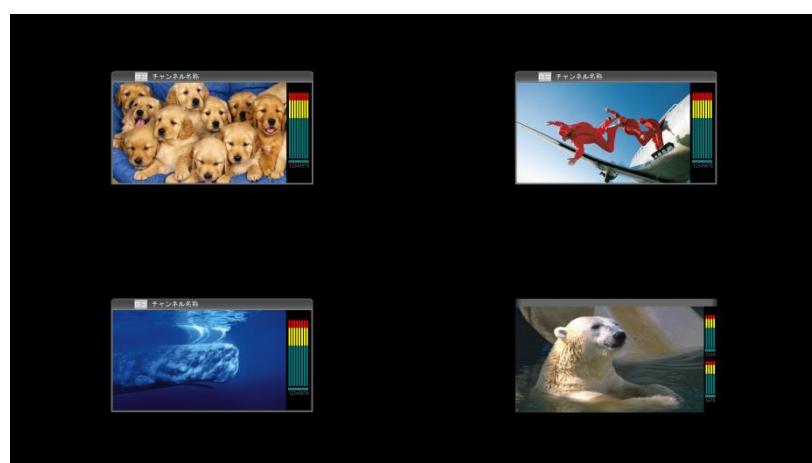
- ① 文字
- ② マット
- ③ 枠

### 使用例

コメントウィンドウの使用例を記載します。

下図にコメントウィンドウを使用した場合のイメージを記載します。

下図では4つのコメントウィンドウを表示しており、最大160個まで表示出来ます。



コメントウィンドウ無しのレイアウトイメージ

コメントウィンドウ追加



コメントウィンドウ設定時のレイアウトイメージ

① 通常使用例



コメントウィンドウは任意の文字を画面上自由に任意の大きさで配置出来ます。

② タリーの様に表示出来ます。



コメントウィンドウは背景色が設定でき、文字を空白のみにすることでタリーの様に表示できます。

③ 枠の様に表示出来ます。



コメントウィンドウは透過率が設定でき、枠サイズも設定できるため、枠の様に表示出来ます。

設定：マット色：不問、マット透過：100%、枠色：赤、枠透過：0%

④ チャンネル名称の様に表示出来ます。



コメントウィンドウを子画面の上部等に配置し、チャンネル名称の様に表示出来ます。テキストは最大1000個のパターンを登録でき、コメントウィンドウ毎にパターンを選択できます。

コメントウィンドウの文字は選択しているパターンを変更するだけで変更出来ます。

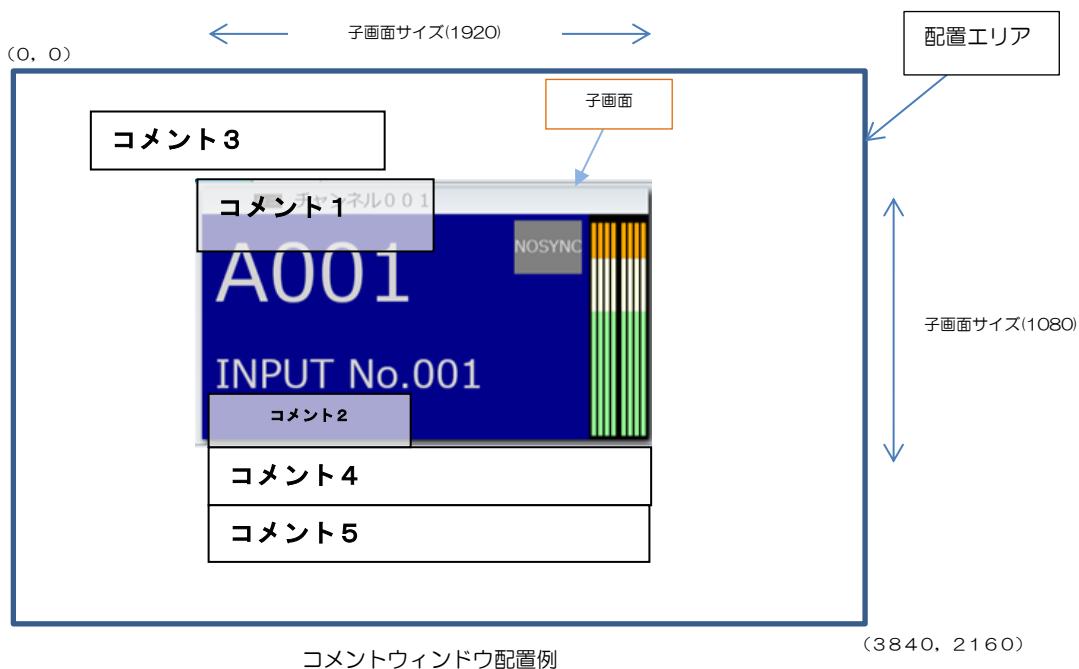


入力コメントウィンドウは、下図の様に、子画面に関連して配置し表示します。

子画面のサイズを1920×1080として、入力コメントウィンドウを配置します。

配置エリアは、H: 0000 ~ 3840 / V:0000 ~ 2160

例)「コメント1」の位置=H:960, V:540 サイズ=H:50%(960),V:25%(270)



コメントウィンドウ配置例

入力コメントウィンドウは子画面のサイズに合わせて、自動でリサイズします。  
子画面のサイズが小さくなるにつれ表示できなくなる場合があります。



## 5 - 4 - 1 設定項目

---

コメントウィンドウデータ、コメントパターンの設定項目の概要を以下に記載します。  
設定詳細は外部制御仕様を参照下さい。

### コメントウィンドデータ設定項目

No	項目名	項目内容
1	表示/非表示	表示/非表示設定です。
2	マットXポジション マットYポジション	表示位置です。
3	マット幅 マット高さ	表示サイズです。
4	マット色	
5	マット透過率	背景色の透過率です。
6	枠サイズ	枠の太さです。
7	枠色	
8	枠透過率	枠の透過率です。
9	コメントパターンID	紐づくコメントパターンIDです。
10	文字サイズ	文字サイズです。
11	配置上下、配置左右	文字の配置位置です。
12	マット Blink	マットの点滅です。
13	枠 Blink	枠の点滅です。
14	文字自動サイズ調整	マットに合わせた文字サイズの調整です。

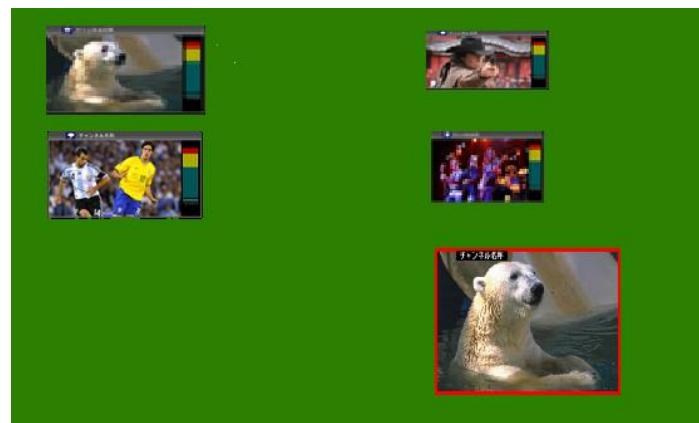
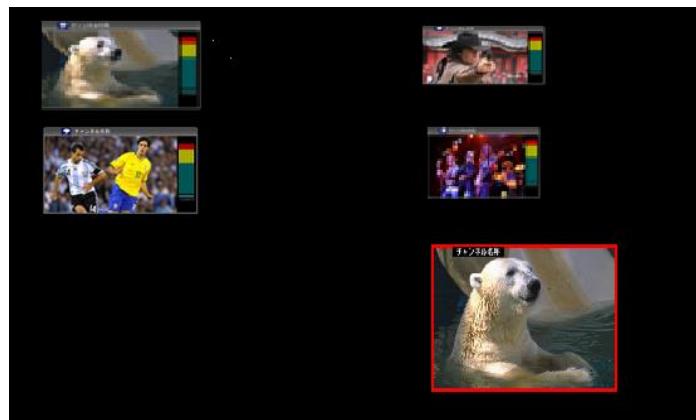
### コメントパターン設定項目

No	項目名	項目内容
1	コメントパターンID	コメントパターンのキーとなるIDです。 本項目は変更出来ません
2	文字色	文字色です。
3	文字エッジ幅	文字のエッジ幅です。
4	文字エッジ色	文字のエッジ色です。
5	フォント	文字のフォントです。
6	文字	文字の内容です。

## 5 - 5 背景設定

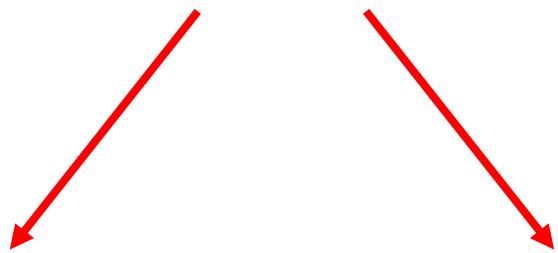
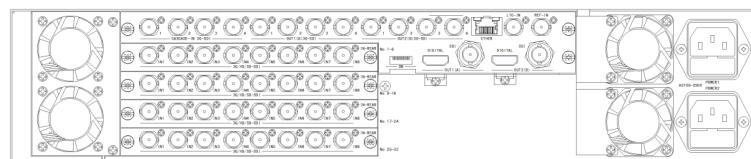
レイアウト毎に背景色を設定できます。

背景色表示イメージ



## 5 - 6 レイアウト設定

出力毎に8個のレイアウトが設定出来ます。



レイアウト



画面 A

レイアウト



画面 B

## お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。

なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

TEL  
担当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒959-0214

新潟県燕市吉田法花堂1974-1

TEL：0256-93-5035

FAX：0256-93-5038